

## テーマ 2: 人口密度が日本で最も大きい村と最も小さい市は?

2009年4月1日現在、日本で最大の人口密度を持つ村は、沖縄県中頭郡の北中城(きたなかぐすく)村です。北中城村は、2004年の人口密度のランキングは3位でしたが、2009年4月1日にはランキング1位になりました。これは、2004年に2位だった三重県御菌村が伊勢市などと合併し、さらに、1位だった三重県鶴殿村が紀宝町と合併してしまったためです。

北中城村は沖縄本島の中央より少し南に位置し、東西が約5.3km、南北が約4.6kmで、11.53平方kmの面積を持っています。年間の最高気温は29.5度、最低気温は17.1度、平均気温が23.1度程度の温暖な気候となっています。北中城村と、そのお隣の中城村に跨る高台には中城城跡があり観光名所となっています。中城城は室町時代に作られた城郭で、2000年には「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として世界遺産に登録されました。「日本100名城」にも選定されています。

一方、人口密度が最も小さい市は北海道夕張市です。夕張市は北海道の石狩平野の東部にあり、東西24.9km、南北34.7km、面積は763.20平方kmです。最高気温31.5度、最低気温-19.6度、平均気温は6.0度で、中城村とは違って寒冷的な気候となっています。

特産品として夕張メロンが有名です。1960年頃までは、日本でも有数の最炭地で、10万人を超える人口がありましたが、1973年頃から炭鉱が閉鎖されるとともに人口が減っていき、2007年には財政再建団体になってしまいました。

参考にした URL:

<http://uub.jp/rnk/rnk.cgi?T=v&S=m>

<http://uub.jp/rnk/rnk.cgi?T=c&S=m>

<http://www.vill.kitanakagusuku.lg.jp/site/view/contview.jsp?category=4&id=16&page=1>

<http://www.city.yubari.lg.jp/contents/compendium/index.html>